

## 産業文教常任委員長報告

審査日	令和7年12月8日
出席委員	中村 美穂 ハ木 亮三 岡田 義晴 松林 敏 安部 都 山口 憲一郎 竹中 悟
説明員	関係所管管理職並びに職員

### 議案第74号 長与町立高田学園の設置に伴う関係条例の整理に関する条例

#### 【提案理由・主な内容】

本町で初となる義務教育学校を高田地区に設立することに伴い、義務教育学校設置の根拠となる規定を新たに追加するとともに、関係する5つの条例を一体的に整備するもの。その中で、長与町立学校設置条例の一部改正においては、新条として第4条（義務教育学校の名称及び位置）を新設し、新設校の名称「高田学園」、所在地、そして校舎名として「百合野校舎」および「さくら野校舎」を記載。

施行日は令和8年4月1日とし、一部字句の修正については、公布の日からとする。  
以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：学校名が変わることで、表札などの予算は補正予算で上程しているのか。

答弁：4月1日に絶対必要なものを補正予算で上程している。表札などについては、運営の過程の中で、今後必要なものを要求していきたい。

以上のような質疑が行われ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

### 議案第77号 長与町火入れに関する条例の一部を改正する条例

#### 【提案理由・主な内容】

長崎市火災予防条例において、林野火災注意報及び林野火災警報に関する規定が新設されることに伴い、所要の改正を行うもの。施行日を令和8年1月1日とする。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：林野火災注意報を条例に加えた根拠は何か。

答弁：令和7年2月26日に大船渡市の林野火災があり、大規模な被害があったため、総務省消防庁が大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会を開催し、林野火災注意報・警報の的確な発令等によって、林野火災予防の実効性を高めることが必要とされ、各自治体における火災予防条例に規定が設けられることになったため。

以上のような質疑が行われ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

## 議案第79号 令和7年度長与町一般会計補正予算（第4号）

### 【提案理由・主な内容】

#### 建設産業部

##### （産業振興課）

ふるさと長与応援寄附金事業で、令和7年度の寄付見込額を4億2千万円から、4億6,500万円へ4,500万円増額したことによる、経費の増額補正。ながさき鳥獣被害防止総合対策事業費補助金では、63万3千円の増、イノシシの捕獲頭数の予測について成獣を92頭増、幼獣を11頭減とするもの。

水産多面的機能発揮対策負担金45万円は、大村湾を囲む9漁協で構成される活動組織である大村湾地域漁業環境保全会が、国庫補助金を活用して毎年1回実施している海底耕うんおよびモニタリング事業の増額補正。昨年度ナマコが大変不漁であったことを受け、県から国に要望し1回分の追加について予算措置があり、その市町負担分。事業費は、総事業費2,700万円、国費1,890万円、県費405万円、関係9市町405万円で、長与町の負担額が45万円。

##### （土木管理課）

町道等維持補修工事費は、国の補正予算措置に伴い、長与中央線舗装修繕工事について、前倒しで要望するもの。

#### 教育委員会

##### （教育総務課）

歳入の企業版ふるさと納税寄附金300万円は、中学校部活動の振興、特に吹奏楽部の活動の振興にとの寄付者の意向があつたため、町内3中学校の吹奏楽部の楽器購入に100万円ずつ充当。

歳出では、令和8年4月開校予定の義務教育学校の設置に伴い、小学5・6年生にあたる児童が現在の高田中学校校舎へ異動することから、必要食器類、おかず用の食缶等の購入、普通教室の空調設置工事およびアクセスポイント設置工事、ならびに教職員の配置が変更されることによる職員用LAN配線工事、教職員用の机・椅子等の購入費を計上。長与第二中学校において、次年度の生徒数が増加することが予定されることによる生徒用机・椅子の購入費用を計上。

##### （学校教育課）

令和の生きる力育成プロジェクト委託金10万円は、教職員研修会における講師謝礼に充当。教育研修会は、当初予算の20万円での実施を考えていたが、本委託金10万円を追加し、合わせて30万円とすることで、2人の講師を招くことが可能となり、これから教職員に求められる資質能力の育成・向上に大きく資する研修会を実施で

きる。

(生涯学習課)

地域スポーツ活動推進事業への活用を目的とした寄附金は、地域スポーツ活動に伴う消耗品の購入に充当。

以上の説明があった。

### 【主な質疑】

**建設産業部**

(産業振興課)

質疑：ふるさと納税の総経費が50%以内にというルールに対して、そのチェック体制はどのようにしているのか。

答弁：寄付額に対する返礼品と送料を合わせた額の割合を総経費が50%を超えないように調整を行っている。

質疑：ワイヤーメッシュ柵の補助金が年度途中になくなっていると聞くが、被害の想定を鑑みて増やす考えはないのか。

答弁：被害防止の柵は370万円を予定していたが、9月末には上限に達し、その後数件相談はあるが、次年度の申込みで話をしている。

(土木管理課)

質疑：長与中央線の補修工事は特定の範囲なのか。

答弁：もともとは、薬局から農協ガソリンスタンド先までの250メートルを予定していたが。7年度の国の内示が低かったため、三彩交差点まで100メートルを施工中。今回、国の補正予算で、三彩交差点から先150メートルを要望する。次年度への繰り越しになる予定。

**教育委員会**

(教育総務課)

質疑：生徒数の増加で机椅子を購入することだが、どれくらいか。

答弁：長与第二中が30人から40人弱ほど増える予定。

(学校教育課)

質疑：新たな義務教育学校の5、6年生は共同調理場の給食を食べる事になるのか、内容は。

答弁：共同調理場からの供給となり、献立は同じで、パンの大きさやおかずの量が違う。

(生涯学習課)

質疑：地域スポーツ活動の消耗品は何を購入するのか。

答弁：ソフト、硬式両方のテニスボール、バドミントンの練習用、本番用の羽根を購入予定。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。